



国際協力

2024.1
NO. 78
新春号

JICA 駒ヶ根

～駒ヶ根から21,500人以上が世界各国へ！～
多くの方々に支えられて 駒ヶ根訓練所開設45周年！

駒ヶ根訓練所開設45周年にあたってのご挨拶

きむら たくさぶろう
駒ヶ根訓練所長 木村 卓三郎



駒ヶ根訓練所は今年開設45周年を迎えました。1979年に地方初の協力隊訓練所として駒ヶ根の地に開設して以来、駒ヶ根市をはじめとした伊南地域の皆さまからたくさんのサポートをいただき、今日を迎えることが出来ました。2024年1月現在で、のべ21,500人を超えるJICA海外協力隊員が駒ヶ根訓練所での訓練を経て、世界へ羽ばたいています。

日本に2か所しかない、JICA海外協力隊の派遣前訓練を行う訓練所としての役割はもちろん、協力隊事業の魅力や価値を多くの皆さまにお伝えできるよう、これからも邁進してまいります。改めて関係の皆さまにご理解・ご支援いただいていますこと、厚くお礼申し上げます。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

協力隊と駒ヶ根訓練所の歴史

- ・ 1965年：日本青年海外協力隊（JOCV）発足
- ・ 1979年：駒ヶ根訓練所 開設（100名規模の収容）
- ・ 2000年：宿泊棟の増築（最大約230名収容可能となる）
- ・ 2015年：青年海外協力隊 発足50周年
- ・ 2020年：新型コロナウイルスの世界的な感染拡大による派遣前訓練一時中止
- ・ 2024年：駒ヶ根訓練所開設 45周年



1979年(昭和54年1次隊)語学訓練の様子



1979年4月 駒ヶ根訓練所開設当初の全景



増築等を経て、現在の形になった訓練所全景

近年の駒ヶ根訓練所

2020年には新型コロナウイルスの影響で派遣前訓練を一時中止し、2021年4月からの訓練再開後も人数制限や訓練日数を減らすなど、様々な対策を講じながらの派遣前訓練となりました。コロナ禍を経て、2023年からは100名規模の訓練を再開し、訓練生のみなこいワールドフェスタや地域イベントへの参加など、従来の訓練に戻りつつあります。訓練期間中の施設訪問受入や4年ぶりの中学生体験入隊、訓練所オープンキャンパスの実施など、地域の皆さまとの交流の機会も復活してまいりました。

また、セイコーエプソン株式会社様との連携で設置いただいている、ロビープロジェクションマッピングやVRルームをはじめ、協力隊歴史展示コーナー、緒方貞子メモリアルギャラリーなど、来所いただく皆さまに国際協力に関する学びを深めていただけるよう、施設内の展示等も大幅にパワーアップしています！

2024年も、各種イベントを予定していますので、ぜひ駒ヶ根訓練所に足をお運びください。スタッフ一同皆さまのお越しをお待ちしております！

第30回協力隊週間

みなこいワールドフェスタのご報告



ジュボード・コマガネさんを講師にアフリカンドラム体験！

2023年の駒ヶ根市5大ニュースの1つで、今回30回目を迎えた「みなこいワールドフェスタ」は、「きく!あじわう!まとう!異文化」をテーマに10月6日～29日まで開催されました。

昨年までコロナ禍により規模を縮小し開催していましたが、今回は実施期間を延長し、世界各地の文化や食を体験できる多くの催しが実施され、みなこい地域各会場を盛り上げました!



ブルキナファソ出身のミロゴ・ベノワさんによるアフリカンミュージックライブ



最終日の国際ひろば、訓練生も約80名が参加し、イベントを盛り上げました!

ご参加いただいた皆さま、ありがとうございました! 来年もみなこいワールドフェスタでお会いしましょう!

4年ぶりの開催! 中学生体験入隊で訓練や 協力隊の活動を疑似体験!

2023年11月11日(土)、駒ヶ根協力隊を育てる会の皆さまと、コロナ禍以降4年ぶりとなる中学生体験入隊を実施しました!

当日は長野県上伊那地域7校の中学生24名が訓練所に集合! 朝の入所式から、夕方の修了式まで様々なプログラムを体験し、派遣前訓練やJICA海外協力隊について理解を深めていただきました。

体験入隊実施プログラムは以下のとおりです。
入所式～協力隊講座～訓練所ツアー～語学体験授業～訓練生との交流～昼食～国際理解ワークショップ～振り返り～修了式

参加した中学生からは、「体験入隊を通し他校の友達や訓練生とお話することができ、世界が広がった!」、「イメージしていた開発途上国と実情が違い驚いた。日本の当たり前が外国では当たり前ではないことを知ることができた」、「将来協力隊に参加してみたい!」などたくさんの嬉しい感想をいただきました。

いつかJICA海外協力隊の訓練生として、駒ヶ根訓練所に入所される日を楽しみにしています!



訓練生が企画したプログラムの様子



語学授業を体験!



修了証書授与、一日お疲れ様でした!



ンドオナミ(皆さんこんにちは)！私はガーナ共和国ボルタ州ホホエで、青少年活動としてICT教育に取り組んでいます。

現在ガーナでも学校デジタル化の過渡期にあり、教員全員が一人一台ラップトップを持てるようにする政策



ICTルームでの授業の様子

が行われていたり、義務教育段階からカリキュラムにプログラミングに関わる内容が盛り込まれたりするなど、国の方針としてICT教育に力を入れている様子が伺えます。しかしながら、学校現場の実情を見ていると課題が山積しており、国の目指しているところとは大きな乖離があるように思います。多くの学校は、生徒が使える

PCはおろか、その科目の教科書すらないことも珍しくありません。学校自体の予算も乏しいため、新しいPCや修理に必要な部品を購入することが難しく、故障したのち放置されているケースもありますし、電気代を支払えずPCがあっても使えないという学校もあります。また、そういったハード面での課題だけでなく、コンピューティング科目を教える教員自身が、十分にPCを扱った経験がないというソフト面での課題も見られます。



教員向けワークショップ

そうした課題にアプローチしていくことが私の活動内容で、教員向けワークショップを開催してPC操作を伝えたり、私が直接子ども達に指導してより効果的な授業のやり方を現地の先生方と考えたりしています。

時に直面している問題の大きさ、複雑さに無力感を覚えることもありますが、自分ができることを確実にやることが、この国が発展していくための一助となることを信じ、今日もここで活動しています。

JICA海外協力隊から地域おこし協力隊へ！

vol.2

地方創生で活躍する海外協力隊 OBOG

辰野町・地域おこし協力隊の渡邊麻衣です。

海外協力隊から帰国後、地元愛知県で外国籍児童生徒への日本語指導に携わったのち、2022年に長野へ移住してきました。ミッションは「多文化共生」！

海外協力隊時代に自分自身が「外国人」として暮らした経験は、現在の活動に役立っていると感じます。

◎活動の3つの柱

1 多文化共生に関わるイベントの開催

「多国籍持ち寄りごはん会」を定期開催。この地域に住む外国から来た人と日本人を繋ぐ場づくりをしています。一人一品ごはんを持ち寄って、みんなで食べる。いろ



多国籍持ち寄りごはん会の様子。いろんな国の料理が並びます

いろな国の美味しい料理を介して、交流が生まれています。

その他、町内の学校で多文化共生や異文化理解についての授業をしたり、日本の難民がテーマの映画上映会を行ったりしました。

辰野町地域おこし協力隊 わたなべ まい 渡邊 麻衣さん
(2014年度0次隊/日系社会青年海外協力隊/ブラジル/日系日本語教師)

2 外国人相談窓口

月2回、役場で外国人相談会を行っています。

また、役場や町の施設で通訳・翻訳業務も行っています。役場内で職員向けに「やさしい日本語」講座も行いました。

3 外国にルーツがある子どもたちのサポート

週2回、外国にルーツがある子どもたちの教室「カラフル」を開催しています。勉強や宿題をしたりおしゃべりをしたり・居場所となるような教室づくりを心がけています。

小学校入学準備のための園児のプレスクールを週1で開催しています。

来年度は、成人向けの日本語教室の開設をする予定です！

今後も多様な人々が暮らしやすい地域づくりに貢献していきたいです。



教室のみんなと一緒に街のイベントに参加しました

ご参加ありがとうございました！ オープンキャンパス in 駒ヶ根訓練所 開催のご報告

2023年12月2日(土)に開催された「オープンキャンパス in 駒ヶ根訓練所」は、60名を超える方々にご来場いただき、大盛況の中終わりました。

初めて駒ヶ根訓練所に来られた方が多く、「見た目よりも中が広い!」、「こんなに長い歴史があったのか!」などの感想をいただき、駒ヶ根訓練所や協力隊事業について知っていただく良い機会となりました。また、来場者の中には、帰国隊員が学校に来て話をしたことで国際協力に興味を持ったという生徒さんが、訓練所に足を運んでくれたりと、協力隊事業が様々な人によって繋がっているこ

とを感じられる瞬間でした。

ご参加いただいた皆さまありがとうございました！

2024年は秋頃に同様のイベントを実施予定です。どうぞお楽しみに！



シンハラ語の体験授業の様子。子どもから大人まで多くの方々にご参加いただきました!

行ってきます!!

2023年度3次隊(3名)

長野県出身JICA海外協力隊員

青年海外協力隊



派遣国: パラオ
職種: 生態調査
児玉 ゆう香 さん(千曲市)

パラオの世界遺産の保全に関わる機関で、野鳥やウミガメのモニタリング調査のサポートを行う予定です。現地の方と協力して、パラオの豊かな生態系・生物多様性の保全に繋がるような活動をしていきたいです。



派遣国: インドネシア
職種: 日本語教育
福田 春菜 さん(長野市)

大好きな国であるインドネシアに海外協力隊員として赴任できることをとても嬉しく思っています。現地では大学の日本語学科で学生の会話力向上のために指導を行う予定です。地域全体の日本語教育を盛り上げていけるよう、精一杯取り組みます。

海外協力隊



派遣国: モンゴル
職種: 理科教育
北澤 啓二 さん(長野市)

35年ぶり2度目(前はネパールの)の派遣です。首都ウランバートルから東へ130km離れたバガノール地区の学校で、実験を取り入れた授業改善の実施を中心に行う予定です。何事にも日々チャレンジの気持ちを忘れずに、精一杯頑張ります。

SBC信越放送ラジオに、長野県の協力隊OBOG・ 出発前隊員・JICA駒ヶ根スタッフが出演中!

毎月第4土曜日
8時22分~8時33分頃

【武田徹のつれづれ散歩道】内コーナー「地球色の窓を開けよう」

皆さま是非お聴きください!

毎月第3月曜日
13時13分~13時30分頃

【ミックスプラス】内コーナー「協力隊と巡る音楽世界旅行」

SBCラジオHP



駒ヶ根市グローバルプログラム生からのご報告

派遣国: カンボジア
職種: コミュニティ開発
2023年度4次隊 **加藤 菜々子** さん
(ルワンダ派遣予定)

私はグローバルプログラムで、駒ヶ根駅前商店街の活性化を目指すまちづくり団体「こまがねテラス」で活動しました。

主に行った活動は、商店街のSNS 利用状況のアンケート調査、ゴッチャ!ウェルネス(フィットネスクラブ)での健康チェックコーナーの掲示物作成、毎月行われている「すすく縁日」の新規出店者の支援です。ゴッチャでは血圧計や体組成計の利用やスタッフへの健康相談ができるのですが、利用者が少なかったため、看板等を設置して利用の促進を行いました。

私はこのグローバルプログラムで、地域を歩き回って住民と話をしたり、イベントと一緒に活動したりするといった、小さな取り組みの積み重ねが大切なことを学びました。活動当初は地域で必要とされていることが分からず焦っていましたが、そうしたことから次第に活動の方向性が決まっていきました。派遣国でも日常の取り組みを大切に、地道に一步一步活動を進めていきたいと思っています。



2023年度 駒ヶ根訓練所 派遣前訓練人数実績

1次隊: 112名 2次隊: 107名 3次隊: 115名 4次隊: 104名入所予定

発行 独立行政法人 国際協力機構
駒ヶ根青年海外協力隊訓練所

〒399-4117 長野県駒ヶ根市赤穂15
TEL.0265-82-6151(代) FAX.0265-82-5336
E-mail jicakjv@jica.go.jp
https://www.jica.go.jp/komagane/index.html

JICA駒ヶ根 facebook ページ

<https://www.facebook.com/jicakomagane>

JICA駒ヶ根 メールマガジン

配信希望の方は jicakjv@jica.go.jp までメールでご連絡ください!